



月刊 おかじょうき

<http://www.okajoki.com/>

2022

12

無人駅鑑賞「カンテラ」 むさし	4
会員雑詠集「無人駅」	7
■例月句会結果■	
おかじょうき川柳社 11 月月例句会	21
川柳吟行会「ぼ」	26
十和田たてがみ川柳会 10 月句会報	28
■連載■	
「深艘心理」 奈良一艘	20
Infomation	33～

カンテラ

むぎわし

これを書いている今は、11月中旬。
津軽は日一日と寒さを増し、里にももうすぐ雪がやっ
て来る。

この地に生まれ育って70数年になるが、冬なのかそ
でないのかという中途半端なこの時期が津軽の季節の中
で一番好きになれない。

そんな中、新型コロナウイルスの感染が第8波に入っ
たようだし、インフルエンザの流行も懸念されている。
皆様、どうぞお気をつけください。

それでは、カンテラに明かりを点しましょう。

鉄塔に過去を聞いてはいけません
ひとり静
てには余力を使わずにいる
まみどり
コスモスの真上の空とウクライナ
吉田州花

吉田州花さん、「コスモス」がお好きなのですね。「コ
スモス」を広辞苑で引くと「コスモス【Kosmos ギリシ
ア・cosmos イギリス】①美しい秩序。転じて、それ自
身のうちに秩序と調和とをもつ宇宙または世界の意。「ミ
クロー」⇨カオス。②〔植〕キク科の一年草。メキシ
コ原産。高さ約1.5メートルに達する。葉は線状に細く裂
ける。秋、大形の頭花を開く。色は白・淡紅・深紅など。
秋桜。おおハルシヤギく。」と出てきます。この句の「コ
スモス」は②の意味だけではなく、①の意味も溶け込ん
でいるようです。プーチン君もうやめなさい！

B群

草を刈り胸のあき地を広くする
村上てる
あまりにも青空すぎて切ってみる
安藤なみ
豚まんが通る鏡は奥の間へ
岩根彰子

A群

非日常から戻れないまま眠る
城後朱美
ブランコに乗ったら一時的五歳
村井規子
天高しギアを一段上げようか
村上あつこ
気がついてみたらこの辺湿地帯
齋藤泰子
なんでやねんなんでやねんと芋ロック
宮井いずみ
どうってことない空を心配してしまう
守田啓子
騙されたまんまで添い寝してあげる
須藤しんのすけ
はらはらと転がる落ち葉と目が合った
田中薫
コクが出るまで右折左折を繰り返す
辻井洋子
偉そうに見えるがうさぎの尻尾だ
鳴海賢治

えび天の尻尾の先まで時雨くる
小野五郎
渋柿に充電装置つけて喰う
坂本清乃
今のうちに延長コード延ばしとく
熊谷冬鼓
ラーメンとうどんでアダルトな話
石橋芳山
かしこで閉じようかため息の白夜
きささぎ彼句吾
このひとも戦争をやる きつとやる
金瀬達雄
インプットし過ぎの脳の青いゲップ
四ツ屋いずみ

四ツ屋いずみさんの「脳」は「ゲップ」をするのです
か。しかも「青いゲップ」とは驚きました。「インプット」
は、「入力」のことですから、いずみさんは何でもかん
でも大量に頭に詰め込んでいるんですね。哲学から、天
文学、数学、詩、小説、博打など、目につくものを手当
たり次第に脳へ取り込んで、そうして川柳というものを
吐き出しているんですね。この句も、「脳の青いゲップ」
の一つなんだ。

C群

お答えはポリエステルな肌触り
米山明日歌

携帯がテプラノドンな咳をする
どうしようわたし動詞になっている
サバ缶の蓋のギザギザと話す

奈良一艘
芝岡かんえもん
夏草ふぶき

米山明日歌さん、「ポリエステル」って凄いですね。多くの化学物質に耐性があるって、伸びや縮みに強く、摩擦にも強い。でありながら、軽くてシワになりにくく、形状記憶性も高く、カビや湿気にも強いし、手入れが簡単、とあるホームページにありました。コットンとブレンドされるとシルキータッチになる、なんてことも書かれています。「ポリエステルな肌触り」の「答え」って抜群に心地いいんでしょうね。でも、何だかなあ。

奈良一艘さん、この句では「携帯が」なんて書いているけど、実は、一艘さんの体内に「テプラノドン」という凄いモノがいるんでしょう？ところで、「テプラノドン」って、「テプラノドン」の親戚かな？テプラノドン【Pteranodon ラテン】は、「白亜紀の北アメリカに生息した翼竜。翼開長6メートルに達し、歯を持たず尾が著しく短い。」と広辞苑にあります。「テプラノドン」は、きつ

と、奈良一艘という巨大な宇宙に棲んでいる謎の怪物。だからトンデモナイ句が書ける。違うかな…。

芝岡かんえもんさんで、「動詞」だったのですか。「動詞」は、「品詞の一つ。事物の動作・作用・状態・存在などを時間的に持続し、また時間的に変化して行くものとしてとらえて表現する語。多くの言語で述語の主要成分としての機能を果たす。」と広辞苑第七版にあります。私にはちんぷんかんぷんです（汗）でも、「動くことが大好き」がこの句になったのじゃないかと推察はできます。助詞とか副詞じゃなくてよかったのではないのでしょうか。

夏草ふぶきさん、とてつもなく変なものとお話していますね。「サバ缶の蓋のギザギザ」って危険なんだよ。話すだけならいいかもしれないけど、触るとケガをするからね。抱きしめようなんて決して思わないように！

（了）

おかじょうき山柳社会員雑誌集

無人駅

★無人駅年度賞

暗がりの火薬はぬれて匂わない

米山明日歌

★無人駅11月月間賞

ゴム通し捜しにナ行まで歩く

岩根彰子

安藤なみ【あんどうなみ・愛知県瀬戸市】

新聞の遠目に深きレクイエム
スカーフを風と引つ張り合っている
気の向きと足の向きとが揃わない
消毒用アルコールにも足す香り
あまりにも青空すぎて切ってみる

先月号のお気に入り
十時だよグズグズしてるとお昼だよ 葉閑女
おっかせーん！

石橋芳山【いしばしほうざん・島根県松江市】

拒まれた指先路線図が消えた
山頂の景色に俺は神だろう
爽健美茶飲んでトイレを追いかける
試食してブラブラ食べ逃げ徒ちやうか
ラーメンとうどんでアダルトな話

先月号のお気に入り

岩根彰子【いわねあきこ・京都府京都市】

豚まんが通る鏡は奥の間へ
朝刊のチラシよたまた着膨れて
インターンだったハンドクリームだった
これから赤ペン鶴にならばつて
木屋町の長いレシートそれっぽく

先月号のお気に入り
塩だれをやめてシロップ漬けの空 宮井いずみ
昨今のオトコごころかしらん

上村夢香【うえむらゆめか・山口県岩国市】

再挑戦の旅はまだまだ終われない
吾妻鏡の漫画に夢中朝も夜も
鎌倉殿今からラスト気にかかる
山合の美術館まで清方を
出会い系縁がないのよわたしには

先月号のお気に入り
育てたものが育てたように出す微光 吉見恵子
二十才の村上選手の凄さに拍手。厳しい指導者と共に
花開いたのだと。これからの成長が楽しみです。

小野五郎【おのごろう・青森県青森市】

ジビエ食って喜んでいる股関節
えび天の尻尾の先まで時雨くる
霜降りの手順を踏んだ交雑種
ぽつと出の女優のようにキヌカツギ
小春日とシャッター枚のヴァン・ゴッホ

先月号のお気に入り

金瀬達雄【かなせたつお・富山県高岡市】

正論を一度も吐かぬ人格者
神様に拾ってほしい招き猫
このひとも戦争をやる きつとやる
家康と三ツ矢サイダー秋の陣
ぼくのうつつしみはやなぎになりました

先月号のお気に入り
雨雲で残るか虹になっちゃうか 守田啓子
僕は雨雲で何とか残る予定です。

きさらぎ彼句吾【きさらぎあくあ・青森県弘前市】

疑問符がボタンホールに引つかかる
誰かが死んで誰かが生まれ恙無い
私に割り込んで掻き乱さないでよ
会話の無い平行線が凍えだす
かしこで閉じようかため息の白夜

先月号のお気に入り
ご立派な葉桜になりましたのね 斎藤泰子
久しぶりのお目もじ、嬉しゅうございました。葉桜どこ
ろではない身を縮めております。

熊谷冬鼓【くまがいとうこ・青森県青森市】

この度は片桐はいり推してます
ワタクシに喝入れてくる静電気
今のうちに延長コード延ばしとく
なりゆきで切り取り線に乗っている
たそがれの小銭ばかりが増えてくる

先月号のお気に入り
生ぬるくなってきたからサヨウナラ 斎藤泰子
カタカナ表記のサヨウナラに意志を感じる。

斎藤泰子【さいとうたいこ・秋田県大館市】

持ち歩く枯れてしまったものたちも
気がついてみたらこの辺湿地帯
心理戦老いのひと日を使い切り
つつしみを忘れたわたし人嫌う
時機が来てしまっただけのことだもの

号の
先月お気に入り
お気に入り
はじまりは少し濁っていた二人 米山明日歌
その後が気になります。終わりはどうなったでしょう？
澄んでいてくれたらいいのですが・・・

坂本清乃【さかもときよの・青森県蓬田村】

勝つための準備は出来た蛙飛び
隙間からボヤキが洩れた羊雲
寄せ植えに僕も一緒に埋めて置く
渋柿に充電装置つけて喰う
雲見ではあーだこーだと夕間暮れ

号の
先月お気に入り
お気に入り

城後朱美【じょうごあけみ・福岡県八女市】

ちっぽけな自分のままでいいじゃない
だからと生きる自分に慣れてきた
母さんを許そう偽善者になつて
非日常から戻れないまま眠る
草取りの時間ですよと夕焼ける

号の
先月お気に入り
お気に入り
チャリンコでゆるりと平安の京都 石橋芳山
平安な京都、いいですね。見てみたい。

須藤しんのすけ【すとうしんのすけ・青森県弘前市】

指先を滑る安楽椅子のネジ
殺したいヤツが三人いるキセキ
ノンシュガー愛してるって嘘だよ
騙されたまんまで添い寝してあげる
ニンゲンノ仕業サヨナラコンニチハ

号の
先月お気に入り
お気に入り
お盆には声張り上げて般若心経 渡邊こあき
漢字と正座が苦手なので、最後まで唱えられるか分かり
ませんが、精一杯精進させていただきます！

笹田隆志【ささだたかし・青森県青森市】

瓶詰めの雲ひとの貌の色をして
東洲斎写楽の光合成しとど雨
木洩れ日は毒針であるインドア派
提灯を光ディスクが修理する
山頂で来光下山して離婚

号の
先月お気に入り
お気に入り
海を見るひとの背後で海も見る 達毘古
海を見たことのないひとの背後から見えるものは？

芝岡かんえもん【しばおかかんえもん・神奈川県横浜市】

どうしようわたし動詞になつている
焼酎をブルースカイに押しあてる
ふて寝した痕がそのまま沼になり
人間に整列してる風見鶏
女の煙もういなくなれないなくなれ

号の
先月お気に入り
お気に入り
家庭には爆発物がワンサカわんさか 旅男
いろんな爆発物がありますもんね。時には時限爆弾も。

瀧尻善英【たきじりよしひで・青森県八戸市】

発想をかえてみようか左巻き
軽量の力士が飛ばば波が立つ
新しい僕がアイパットに潜む
新月の闇で現場を見たカメラ
巻き返し青い鶏冠が赤くなる

号の
先月お気に入り
お気に入り
えっあれっ俺はライオンだったのか 芝岡かんえもん
草食系の僕だが、過去を振り返ってみると獅子の時代も
あったかも…。そっいえば僕は獅子座です。

田中薫【たなかかおる・青森県弘前市】

はらはらと転がる落ち葉と目が合った
ぐんじよ色毛玉だらけの冬が来る
半分が白半分が黒なんですよ
橙の柿から飛び跳ねた慾望
斜線引く生き延びた感メロン味

号の
先月お気に入り
お気に入り

旅男【たびお・青森県五所川原市】

血を沸かす透明無臭メタバース
南瓜割る完璧な音脳の冴え
おえりやせん落ちて知る水の冷
なめずりの舌がチロチロ自愛心
日本の愛飲多淫銀座の灯

先月号のお気に入り
振りかけにしようか蟬の大合唱 岩根彰子
振りかけの意外性。ご飯に染み入ります。トロロにした
いたまーの褒め言葉。

辻井洋子【つじいようこ・青森県青森市】

コクが出るまで右折左折を繰り返す
花を書く花のない庭見て描く
ぐちゃぐちゃになった頭で決めないで
常夜灯こつちを向いて欲しい夜
柔らかに予期せぬ風を受け止める

先月号のお気に入り
草むしりスカイツリーも抜いてみる 芝岡かんえもん
川柳の醍醐味 存分に味わいました。

奈良一艘【ならいつそう・青森県弘前市】

アンニユイな老後の酔い方畳み方
携帯がテプラノドンな咳をする
病名は先天性多情症。以下余白
後期高齢的ロケンロールな息を吐く
手を挙げた人から順にウォシユレット

先月号のお気に入り
これからはソーラン節で行きますか 田中薫
あ、いやスーダラ節の方が…

鳴海賢治【なるみけんじ・青森県つがる市】

押しも押されもしないミントの香り
誰も助けようとしてないピアスの穴
戦場へは行かない家へ帰ろう
偉そうにみえるがうさぎの尻尾だ
さほど高くはないがA4サイズ

先月号のお気に入り
山と山とりあえず山現在地 田中薫
山づくしにしているところが、目についた。

土田雅子【つちたまさこ・青森県青森市】

まだ余裕あつてウマヅラハギの顔
星落ちてやわら天女のバンジージャンプ
京扇子で掬うホタルの亡骸
押し入れのアベノマスクよ…合掌
チートデーとか言う謎めいたもの

先月号のお気に入り

夏草ふぶぎ【なつくさふぶぎ・青森県青森市】

熱っぽい枯葉の穴がもがいてる
魂がきれいなままの淋しい日
薬飲み干し見知らぬ街にいる
生臭い涙の中で飼う金魚
サバ缶の蓋のギザギザと話す

先月号のお気に入り
失語症のまんまぼかんと浮くトマト きざらぎ彼句吾
浮いてると薬ですものね。

ひとり静【ひとりしずか・奈良県大和郡山市】

鉄塔に過去を聞いてはいけません
根拠などないでもないけど奥へ奥へ
さよなら三角もう泣かぬバラスト
三角も四角も丸も一緒くた
線いっぽん引いたところから考える

先月号のお気に入り
一週間違う音出し生きてみる まぎこ
思いもかけない一週間になりそうですね。

ひらく【ひらく・青森県蓬田村】

雛たちに遺してやるぞ青い空
船長の疾風怒濤と宣候
連絡船には修学旅行の金メダル
前期高齢予定を足に確認する
火傷しそうなピンクの薔薇に一票

先月号のお気に入り

まきこ【まきこ・青森県青森市】

切るまでもないねゆるゆる赤い糸
浮き上がるサインコサインあなた誰
ゴロゴロニャン飽きてきました穴の中
空に月老後のページ見つからぬ
以下余白お出かけします天国へ

先月号のお気に入り
歯並びのあまり良くないメロドラマ 小野五郎
どんなメロドラマなの。しばし立ち止まりました。五郎
さん主役?

まみどり【まみどり・青森県黒石市】

今さらに人に言えないはにほへと
聞かれても返事に困る四字熟語
てにをはで余力を使いすぎている
他人にはなお手厳しい好き嫌い
寝返りが下手な人から折れなさい

先月号のお気に入り
星の数かぞえて悪事巡らせる 石橋芳山
無理ですって、ロマンチストの悪事はたかが知れている。

村井規子【むらいのりこ・青森県大鰐町】

ブランコに乗ったら一時的五歳
作句して頭蓋骨だけ密度高
覚悟して待ってた悲しみじゃないもの
百円が最近でかい顔するの
乳母車押して句会に行く明日

先月号のお気に入り

村上あつこ【むらかみあつこ・青森県青森市】

プーチンのアドレナリンが止まらない
戦争は迷路出口がわからない
点線で繋がっている過去未来
天高しギアを一段上げようか
越後屋をたんと集めてオリソピック

先月号のお気に入り
冷蔵庫の隅に居座る罵詈雑言 まきこ
そっか悪口は冷蔵庫で冷やしておくんだ!

三浦蒼鬼【みうらそうき・青森県黒石市】

神様の言う通り老人になる
締め切りが無ければ僕を見失う
タマネギを刻むタテガミ撫でながら
すり減ったあとの神経 笑えるか
楽しみな種ほどさりげなく植える

先月号のお気に入り

宮井いずみ【みやいいずみ・大阪府大阪市】

鷹揚にうなづく姉は富有柿
ひとことに冷却ジェルのような雨
なんでやねんなんでやねんと芋ロック
海鳴りが響いて煮込みハンバーグ
たし、まほし、ただ美しく水海月

先月号のお気に入り
行列の一部始終が乱である 石橋芳山
雅やかな時代祭が乱だったら、面白い小説になるなあ。

村上てる【むらかみてる・青森県青森市】

草を刈り胸のあき地を広くする
募洗うきれいすぎな姑のこと
卒寿くるさみしくもありやる気です
としかからと行動範囲規制され
吐き出した秘密たちまち黒い雲

先月号のお気に入り
修羅越えて涙腺すでに枯れました 瀧尻善英
卒寿までどんなに修羅場があった事か。涙は枯れはてた
ようです。

守田啓子【もりたけいこ・青森県三沢市】

生きる気は満々 けれどふわりとね
何もないけどおだやかに満ちる月
夕やけの赤使い切る愛し方
切るよりも切られた方が秋日和
どうつてことない空を心配してしまう

先月号のお気に入り
明日の朝妻の娘が会いに来る 須藤しんのすけ
えっ?!

柳本恵子【やなぎもとけいこ・奈良県奈良市】

少年ジャンプまたいで大人の秋になる
返り点一年前の笑う僕
自画像をなぞる8Bの鉛筆
猫足の椅子の前世を聞いている
もろもろをシュレッターして十二月

先月号のお気に入り
断捨離の途中迷子になりました
まだまだ続く断捨離の迷路。
城後朱美

柳谷たかお【やなぎやたかお・青森県外ヶ浜町】

この海を越せと紙飛行機を折る
深呼吸こんなに青い空と海
波のリズムで歩いてる生きている
靴紐をほだいて僕が僕になる
三日月の形になると眠くなる

先月号のお気に入り

葉 閑女【ようかんによ・青森県青森市】

草深い寓居わたしのパラダイス
スタインベック野葡萄粗目マスカット
言にくいことを言うから疎まれる
だから放つておけぬどてかぼちゃ
快樂の神が夜空を独り占め

先月号のお気に入り
垂木にもなれず蒟蒻にもなれず
どちらも大変そうですもの。
まみどり

吉田州花【よしだしゅうか・青森県青森市】

この先のシナリオはない朝だから
くらし満月欠けてゆくのを止めたいが
コスモスの真上の空とウクライナ
素うどんだの素っぴんだのは意に添わぬ
ときどきは乗つけてくれる人がいる

先月号のお気に入り
垂木にもなれず蒟蒻にもなれず
あなたはあなたのままでもいいのです
まみどり

吉田吹喜【よしだふぶき・青森県弘前市】

丸ごとの覚悟を持って受け止めよ
ポンと肩思い通りになどさせぬ
しぶといね肉体のねじ緩んでも
思ったより悪あがきつて疲れるわ
届きたい人には届かないハート

先月号のお気に入り
生ぬるくなってきたからサヨウナラ 斎藤泰子
暑いとか冷たいとかはつきりしてよって思い始めたら
サヨウナラだよね…。

吉見恵子【よしみけいこ・青森県青森市】

飛行機の離陸十五度顔上げる
糸の先身の丈の魚待っている
想念のふわりふわりと雲となる
一色ずつ剥いでゆくのは秋時雨
転がって誘う枯れ葉あの世まで

先月号のお気に入り

四ツ屋いずみ【よつやいずみ・北海道札幌市】

それほどに自慢じやないが遊走賢
インプットし過ぎの脳の青いゲップ
良いとか悪いとか念仏の残響
「漸く」と「暫く」モヤモヤの2秒
着飾られすぎカヌレの悲哀聞けよ

先月号のお気に入り
半ドンだった自転車だった夕暮れた 守田啓子
昭和の土曜日の子供時代！ほんの少し前に感じます(笑)

米山明日歌【よねやますか・静岡県長泉町】

舟をつくる木で犬小屋たてた人
揺れながら舟になる人待っている
聞いてない出口が三つあるなんて
肉のない話ばかりを聞かされる
お答えはポリエステルな肌触り

先月号のお気に入り



おかじょうき川柳社：誌上句会

0番線

課題と選者（2句詠・共選）

題：『色』

選者

須藤しんのすけ（青森県）

奈良一艘（青森県）

2/28 〆切

投句方法

※誠に申し訳ありませんが、郵送・FAXでの応募は受け付けておりません。

【ウェブサイトからの応募】

<http://okajoki.com/toku/0line.html>へアクセスし、作品応募フォームから必要事項を記入して送信してください。



【メールで直接送信する場合】

メール本文内に「作品（2句まで）」「郵便番号」「住所」「氏名または雅号（ふりがな）」「電話番号」を明記し、件名に「0番線」として、守田雪子宛にメール送信してください。＜送信先アドレス：moriko@okajoki.com＞

投句料（※おかじょうき川柳社会員は無料です。）

1,000円（発表誌呈）※経理の都合をもって、投句料変更したものとさせていただきます。

◆振込先：郵便振替 No.02280-8-43112 口座名 おかじょうき川柳社

賞

特選の方に青森県特産品を贈呈。

渡邊こあき【わたなべこあき・青森県青森市】

秋晴れが続く訃報の日が続く
早世の娘に会いたかつたんだ
百合の花咲ける蕾が残つてる
カラフルな杖で明日へ歩きだす
キュウリもみ明日を美味しくしてくれよ

の月号の
先月お気に入り

月のページでばたと今日の闇閉じる
満月のページで閉じてくださいね。

きさき彼句音

むさし【むさし・青森県蓬田村】

月までの階段がある無縁墓地
暇なので月をつついてばかりいる
絶壁を登ってしまい動けない
おはようと万年筆で言ってみる
流しソーメン的イケメンのポロネーズ

無人駅は自由な発表の場です。
未発表作品5句をお寄せください。
また、お手元の最新号から
好きな作品とそれに対する
簡単なコメントもお寄せください。

深艘心理

ネジバナのいろいろな角度から

斎藤泰子

(会員雑詠集 無人駅10月号より)

ネジバナとは湿っていて日当たりの良い、背の低い草
地に良く生育するラン科ネジバナ属の小型の多年草。花
色は通常桃色で、小さな花が花茎の周りに螺旋状に並ん
で咲くことから「ネジレバナ」「ネジリバナ」「ねじり草」
とも呼ばれる。とある。

掲句はその「ネジバナ」のようにいろんな角度から：
で敢えて止めている。その角度からどうだこうだと全く
述べてはいない。

こういう句は、余りにも読者に委ね過ぎだ、或いは尻
切れトンボの句だ。と、ご批判をなさる方もおられるだ
ろうが、多分作者はそういう批判は覚悟の上で作句した
に違いない。

何故ならば、読者それぞれの価値観によって、その角
度で「咲く」「陽をあびる」「観る」でも、「考える」或い
はその角度で「落下する」のだと捉えたとしても、作者
はその全ての解釈を全肯定しようとしているからなの
ではないだろうか。いや、逆にその全てを自身が言いたかっ
たのではないだろうか？

ズルいといえばそう言えないこともないが、川柳とい
う五・七・五の制約の中で全てを言い切ることは出来ない
が故の、苦肉の手法だと思えば、「スゲェじゃん」と拍手
を送らねばならないのかもしれない。

どんな角度で、いや、どんな場所で咲いても陽が当た
るような努力と忍耐を持ち、とかく悪い面ばかりが目立
つ「ニンゲン」という哀しい生き物をこそ、あらゆる角
度から良い面も悪い面もしっかりと見詰めて優しく慈し
んであげたい。例えそれで落下するようなことがあった
としても：という作者の生き様と信念を込めた句に他な
らない。

そう、だから私も「ネジバナ的な角度」で掲句を優し
く評価しなければ：と思うのだ。

んー、ちょっと綺麗にカッコつけ過ぎちゃったかもし
れないが、ぢいさんはいつも妄想だけしている訳ではな
く、偶には背筋をピンと張って寝言を言うこともあるの
だ。うむ。

ついに鳥は

おかしようき川柳社 11月例会

11月5日(土) 午後1時～ アウガ5F小会議室

▼出席者(11名)

葉閑女・熊谷冬鼓・渡邊こあき・小野五郎・奈良一艘・木村美
映・夏草ふぶぎ・Sin・むさし・きさらぎ彼句吾・守田啓子

▼投句者(21名)

吉田吹喜・宮井いずみ・旅男・金瀬達雄・安藤なみ・芝岡かん
えもん・柳本恵子・城後朱美・米山明日歌・石橋芳山・岩根彰
子・須藤しんのすけ・まきこ・郷田みや・笹田隆志・笹田かな
え・村上あつこ・鳴海賢治・田中薫・まみどり・坂本清乃

席題『節約』

青森県青森市 葉閑女 選

【佳作】

その1、安楽死法案を可決
 高齢者時間たつぷりとつておく
 早死にが一番の節約になる国だ
 歩いていこう Jアラートは気にせずに
 暖房オフ木の実時雨のスクワット
 晩節の節約なんてバナナだよ
 みみつちく暮らし買つてる外れくじ
 息吸うと部屋がどんどん狭くなる
 死刑断行ヒトの臭いを消しまくる
 節約が過ぎて土偶になつたひと
 百均に在つた桃源郷の宙
 節約にも限界がある とろろ汁
 節約したらサヨナラだつた置き手紙

【特選】

節約をしない男のまま死のう

↑ そんな生き方もあっていい。

奈良一艘

渡邊こあき

S i n

S i n

守田啓子

守田啓子

熊谷冬鼓

夏草ふぶき

奈良一艘

むさし

きさらぎ彼句吾

熊谷冬鼓

きさらぎ彼句吾

むさし

席題『節約』

青森県青森市 熊谷冬鼓 選

【佳作】

爺さんの毛豆を節約しています
 値上げラッシュいたちごつこの儉約令
 ハムレット的残り時間の使い方
 死刑断行ヒトの臭いを消しまくる
 暖房オフ木の実時雨のスクワット
 いろんな場面で使う男専用クーポン
 息吸うと部屋がどんどん狭くなる
 牙・馬力・希望の順に萎えさせる
 晩節の節約なんてバナナだよ
 早死にが一番の節約になる国だ
 その1、安楽死法案を可決
 百均に在つた桃源郷の宙
 節約をしない男のまま死のう

【特選】

節約が過ぎて土偶になつたひと

↑ 過ぎたるは…。土偶の比喩は見事。

小野五郎

葉 閑女

小野五郎

奈良一艘

守田啓子

S i n

夏草ふぶき

奈良一艘

守田啓子

S i n

奈良一艘

きさらぎ彼句吾

むさし

むさし

宿題『りんりん』

青森県蓬田村 むさし 選

【佳作】

血糖値は正常「行くぞ！ロシナンテ」
 ばあちゃんの自転車通るそこをどけ
 元氣りんりん焼芋買って羽ばたいて
 アンパンマン歌って古希へ突き進む
 逢える午後りんりん鳴るペンダント
 海馬にも股関節にも虫集く
 りんりんは二拍子ですぬ湯がたぎる
 側頭葉の辺りかすかに鈴の音
 少年を男に変える細い指
 新米はうまいし 瘡蓋は取れたし
 りんりんと鳴かないスズムシの矜持
 晩秋のりんりん 猫の昆虫食
 倫理倫理とうるさいカニの爪
 りんりんと鳴らない勇気の鈴がある

奈良一艘

渡邊こあき

葉 閑女

笹田かなえ

葉 閑女

きさらぎ彼句吾

郷田みや

奈良一艘

須藤しのすけ

熊谷冬鼓

吉田吹喜

坂本清乃

小野五郎

木村美映

【五客】

喜びも悲しみもチンと切る黒電話
 ドアベルが鳴って始まる無言劇
 たぎるもの減ってしまった骨密度
 りんりんと鳴る鈴だつた妻だつた
 銀杏の黄浴びつばなしの前頭葉
 転ぶたび悪い女になつていく

S i n

まきこ

きさらぎ彼句吾

木村美映

熊谷冬鼓

米山明日歌

米山明日歌

笹田かなえ

きさらぎ彼句吾

夏草ふぶき

宮井いずみ

夏草ふぶき

宮井いずみ

夏草ふぶき

夏草ふぶき

夏草ふぶき

まきこ

まきこ

まきこ

奈良一艘

【天位】

自転車のベルが職質受けている
 オンナからオトコを引くと鈴が鳴る
 くちびるの夕焼け色の形容詞
 ↑ 「りんりん」って、そつだつたのか…。

宿題『裏』

青森県青森市 渡邊こあき 選

【佳作】

裏切りじゃないかニンニク抜き餃子
 裏通り抜け出てローマの休日
 裏事情なかなか開かぬ瓶の蓋
 後半裏入りこれから楽しくなる
 ニンゲンの裏側にいる鮫の群れ
 正義はいつもリバーシブルで最低で
 手のひらを反す言い分 うろこ雲
 ひっくり返しそねた嘘のパンケーキ
 言うことはないのか路地裏のノラよ
 裏紙をはがして再び主夫となる
 議事堂の中にニホンの裏通路
 母さんの小言裏ごししてみれば
 非常時に裏返してはいけません
 定期健診そろそろ七回裏あたり

石橋芳山
 石橋芳山
 守田啓子
 柳本恵子
 むさし
 S i n
 熊谷冬鼓
 きさらぎ彼句吾
 笹田隆志
 木村美映
 旅 男
 宮井いずみ
 郷田みや
 木村美映

たつぷりと指紋のついたB面だ

うちにいる屋根裏部屋の怪人

訳ありのオトコが点てる裏千家

足の裏だと思っていたが顔である

何もかも隠し終えたと足の裏

どうやってまるめ込まれた裏表紙

【五客】

手裏剣もSNSも飛び道具

表だ裏だとうるさい竹箒

今度はずっと上手く裏返る

少したけ舐めればわかる裏表

裏ごしを知らずじりり生きています

【人位】

月夜なら裏声もだす肩もだす

失敗はぎ合わせ裏打ちにしちゃう

【地位】

満足そうな落日だなあ裏表紙

『いい人生をおくったようですね。』

芝岡かんえもん
 芝岡かんえもん
 奈良一艘
 むさし
 まきこ
 笹田かなえ

奈良一艘

小野五郎

柳本恵子

まみどり

守田啓子

米山明日歌

きさらぎ彼句吾

きさらぎ彼句吾

宿題『自由詠』

青森県弘前市 奈良一艘 選

【佳作】

お疲れ様でしたと落ち葉踏みしだく
 さよならがまたのことやつてくる
 ノルウェイの森に熱っぽい一族
 いつまでも夏の顔して空のバカ
 まつとうな悪はおそらく悪じゃない
 ボードレールな猿とふたりで雲を見る
 ごめん下さいましと秋が通りすぎる
 やたらこぼれる団塊のメシツブ
 うつむいて仏像を彫る怪しいか
 鳥に戻る為の筋肉蘇生中
 春菊の気障な科白へかゆみ止め
 カーブスへ行くか句点で誤魔化すか
 人間という理由でモザイクかけられる
 びしょ濡れであろうプーチンの靴の中

笹田かなえ
 芝岡かんえもん
 石橋芳山
 吉田吹喜
 まみどり
 金瀬達雄
 柳本恵子
 きさらぎ彼句吾
 安藤なみ
 熊谷冬鼓
 宮井いずみ
 S i n
 木村美映

女にもてる寝顔をしているか

いじわるな距離だじれつたい距離だ

珈琲カップの波紋TUNAMIの予感

国民の皆さんという万華鏡

キウイ的発想ばかりする人と

言い分けのつもりねマスキングテープ

【五客】

とぐる巻く別れ言葉をほどけない

何回も人をずらして生きのこる

切り捨てた枝が軍楽隊になる

えいやつてミサイル避けて詐欺避けて

突然に蓮根からのファンファーレ

【人位】

ミサイル退場 鳩を出しますよ

トーストを盾に人証しのバナナ

【天位】

ついに鳥は延長コードだけおいて

『意味深な延長コードに物語はふくらんでゆく。』

小野五郎

きさらぎ彼句吾

笹田隆志

旅 男

米山明日歌

郷田みや

きさらぎ彼句吾

芝岡かんえもん

葉 閑女

まきこ

安藤なみ

小野五郎

岩根彰子

守田啓子

川柳吟行会「ぽ」課題『地』

十月十九日、合評会への参加が躊躇されるような秋時雨の朝模様であったが、幸いにも午後から雨が上がった。この日青森市内のアウガには七名が参加した。今回は一人吟行「地」のバラエティに富んだ全五十七句について皆で意見を出し合ったが、それぞれの感性の違いによる解釈が面白く、体験談や博識な話題へ広がるなど、大いに刺激される有意義な時間となった。また、膝を突き合わせて語り合う楽しさを改めて感じさせられた。

(吉見恵子)

【8点】特×2・佳×4
のびちやったうどんみたいな出身地 守田啓子

【朱美】のびちやったうどん、あまりすぎじゃないけど、

【5点】特×2・佳×1
地上波の届く距離にはいまいしょね 渡邊こあき

【かなえ】「地上波」がいい。デジタルが主流の今、取り残されたような気持ちの私に、まるで天使のほほ笑み。
【さち】長い間一緒にいると、せいぜい地上波が届く距離がちやうどいい。家族・友だち、みんなそれ位の距離が穏やかで優しい。ところで今は地上波つてどこまで届くのかしらん。【しんのすけ】「毎日メールくださいね」つて愛(?)を感じます。

ふつつつとゆつくりジャムになる着地 守田啓子

【与生】ふつつつ、着地点がジャム、というところに暴動が起きない日本らしいレジスタンスを感じた。【柳本恵子】ジャムになる着地がいいですね。慎重に考え考え生きておられるのだと思います。【朱美】忙しい毎日、ジャムを作る時間がほしい。

【5点】特×1・佳×3
地下で買うゼレンスキーと同じシャツ 月波与生

【州花】せめてこんなことででも気持ちを晴らせるなら。
【善江】ワイルドな髭とTシャツがトレドマークのゼレンスキー大統領。左胸の十字紋章もいい。兵士たちとの

なくてはならない出身地だからね。【五郎】例えばユニーク。想像力を強く刺激する作り方。【彰子】のびちやったうどん、充分響く。【州花】出身地つてのびちやうんだ。【かなえ】ユーモアたっぷりな書きっぷりに拍手！【冬鼓】それってどんな出身地？って想像が広がる。

【7点】特×3・佳×1
洛中洛外図めくれば地虫鳴く 小野善江

【吉見恵子】歴史観が出ている。戦いに明け暮れた土地柄であれば、「地虫」のような声にならない声がかきいてることだろう。【隆志】京の地図と洛中洛外図が目に見え、その陰に隠れた闇の世界がくつきりと浮かびあがってきます。【冬鼓】洛中洛外図のきらびやかさの陰には敗者の無念が渦巻いているはず。地虫がいい。【いずみ】地虫とはカブトムシ等の幼虫で、mm程の筒状。洛中洛外図の下にいるからと無理矢理鳴かせたのが川柳。

絆を大切にしたい。【規子】ゼレンスキーと同じなら喜んで買います。【さち】応援したい気持ちは伝わるが地下？がよくわからない。

コスモスコスモス天変地異の真つ盛り 笹田かなえ

【こあき】平和なコスモス畑と、いろいろなことが起っている今の対比がよかった。【善江】「天変地異」とコスモスの対比がいいですね。日差しの中でコスモス揺れます。【いずみ】コスモスの色とりどりの可愛い景色と天変地異の取り合わせが上手い。【さち】コスモスを重ねたことは冒険的。地球は狂乱状態です。

【4点】特×1・佳×2
百円ぼとつ 地産地消のネギ大根 吉見恵子

【彰子】地産地消がよい。百円のネギ、大根、買い手が信じて竹筒にお金を入れての買い物。百円ぼとつ：動作が目につかぬ。【こあき】無人のお店ですか。ちゃんとお金を入れましょうね。【文音】地域生産、地域消費は世界中の目指すところであって欲しい。

【3点】特×1・佳×1
地下牢に転がっている一升瓶 小野五郎

【しんのすけ】薄暗く冷たく劣悪な環境でも、酒さえあれば気分的に何とかなるらしい。まったく酒飲みつて奴は…(笑)【かなえ】「地下牢」と「一升瓶」の取り合わせが怖すぎる。

櫻の下に埋めて下さいあの方と 吉田州花

【啓子】情念の句。「あの方」が気になる。「櫻」の表記。古風な恋愛を思わせる効果を狙ったか。【朱美】一緒にはなれなかった人と、一緒に居たい。

地上波のもつれ髪形決まらない 小野五郎

【文音】地上波は放送局の分類とスマホで調べる。この句から電波のもつれ、髪のもつれでは済まされないと地球の恐怖を感じて特選です。【冬鼓】SNSがらみの事件があまりにも多い。井上陽水の「傘がない」を思った。

【3点】佳 x 3

賀茂茄子のどごを切っても京ごとは 岩根彰子

【こあき】リンゴを切ると津軽弁ですね。【隆志】あこがれの京都のことばに加賀茄子がぴったりです。【五郎】ユーモアが溢れる。楽しい表現。

守りとしたのですね。【州花】心を置いてどこに行くの
だろう。

遠近法狂ったままの遊園地 月波与生

【彰子】閉園の遊園地、遊具、イメージしやすい。【しんのすけ】遊園地は夢の国です。無粋な決まり事は不要です。

シエルターの値段を一応覗くだけ 村井規子

【与生】「風が吹くとき」(レイモンド・ブリッグズ)の世界がすぐそこに。【文音】やはり私も安全確保の品定めをするだろうなと思った一瞬を見透かされた。

ピンポンパンよくわからない現在地 宮井いずみ

【吉見恵子】「ピンポンパン」で、現在地のよく解らなさが表現されていました。本当に解りませぬ。色々な意味での分岐点なのかも。【与生】現在地とはそんなもの。わかったとたん飽きます。ピンポンパンで調子を整えて。

【2点】特 x 1

円周率を唱えて地藏様の秋

小野善江

【達雄】「円周率を唱えて」は地球が平和に丸く収まりますように。「地藏様の秋」釈尊入滅、弥勒下生までは地藏様が民を救う秋。

地下茎をつながっている日本人 宮井いずみ

【善江】言い得て妙だと感心しきりです。「地下茎」がい
いなあ！

地下茎をたどると父の大きくしゃみ 熊谷冬鼓

【いずみ】なんでやねん！というオチですが、その発想
が面白い。

地下シエルター産声だけが響く夜 柳本恵子

【規子】地上で戦争があろうとも命のドラマは続く。

【2点】佳 x 2

コスモス一面ころはここにおいてゆく 柳本恵子

【吉見恵子】心をリフレッシュして、この景色を心のお

【1点】佳 x 1

草むしり土はこんなにあたたかい 城後朱美

まだ遠い悟りの境地ラ・フランス 宮井いずみ

冬連れて柘榴弾ける0番地 福田文音

夜通しの地面濡らしてやがて雪 福田文音

地下茎を銀河鉄道駆けめぐる 吉見恵子

悪事遂行白く咲いてる地味な花 小野善江

ゴーヤチャンプルもしかして地上戦 小野五郎

彼岸花咲かせて放置耕作地 熊谷冬鼓

地下水は気づいてほしい欲しくない 笹田かなえ

十和田たてがみ川柳会10月句会

○参加者 木村奈生美・久保あざみ・斉藤蛙井・佐藤まさあき・瀧尻善英・中村英三・村上昌子・高田幸柳
 ○投句者 磯島雅男・城後朱美

■席題 『世界地図』 中村 英三 選

【平抜き】

世界地図勝手に変える侵略者 高田 幸柳
 世界地図紛争ばかりエゴの旗 瀧尻 善英
 円安で地図を片手に旅行客 村上 昌子
 押し押され一喜一憂世界地図 高田 幸柳
 世界地図先進国が打つ楔 瀧尻 善英
 外国もネットで見られ便利な世 木村奈生美
 世界地図見れば日本の小さきこと 佐藤まさあき
 旅番を観て地図を見て盛り上がる 村上 昌子
 【秀逸】
 Eメール小さくなった世界地図 瀧尻 善英
 行けぬなら跨いでみよう世界地図 村上 昌子

【特選】
 世界地図国境線を消したいな 齊藤 蛙井

■席題 『世界地図』 瀧尻 善英 選

【平抜き】

外国もネットで見られ便利な世 木村奈生美
 ゴミの無い世界を願う未来地図 木村奈生美
 世界地図国境線を消したいな 齊藤 蛙井
 世界地図平和を願い撫でている 高田 幸柳
 戦争をしている国はそここに 久保あざみ
 世界地図布団に描いた子二児の父 佐藤まさあき
 世界地図ゆったり眺め旅気分 木村奈生美
 世界地図見れば日本の小さきこと 佐藤まさあき
 円安で地図を片手に旅行客 村上 昌子
 【秀逸】
 旅番を観て地図を見て盛り上がる 村上 昌子
 行けぬなら跨いでみよう世界地図 村上 昌子
 【特選】
 世界地図勝手に変える侵略者 高田 幸柳

■宿題 『静寂』 佐藤まさあき 選

【平抜き】

静寂を破る頭上の戦闘機 磯島 雅男
 静寂な月の光が隙間から 中村 英三
 仏壇で静かに眠る母の櫛 瀧尻 善英
 喧騒を抜け静寂な森に行く 木村奈生美
 深々と心と会話夜の底 齊藤 蛙井
 静寂な茶室心を落ち着かせ 木村奈生美
 亡き父母の思い出ひたる昼下がりに 村上 昌子
 静寂が欲しくて今日は遠回り 高田 幸柳
 静寂が苦手なテレビ点けている 城後 朱美
 心音が聞こえ命を休ませる 瀧尻 善英
 境内の木洩れ日風がさわさわと 高田 幸柳
 【秀逸】
 静寂と語り合ってる老いの午後 齊藤 蛙井
 秒針の音のみ響く一人部屋 中村 英三
 【特選】
 静寂の中で命のエンディング 高田 幸柳

■宿題 『せつかち』 村上 昌子 選

【平抜き】

せつかちはエンドロールで席を立つ 瀧尻 善英
 せつかちを束ねて首にぶらさげる 高田 幸柳
 せつかちな人は待てないフルコース 城後 朱美
 せつかちな犬に散歩をせがまれる 城後 朱美
 サンドルはダメと言う間に足挫き 中村 英三
 せつかちであるが動作はままならぬ 瀧尻 善英
 せつかちで他の団体へ迷いこむ 中村 英三
 バスの列貧乏ゆすり待っている 佐藤まさあき
 せつかちとのんびり夫婦で持っている 佐藤まさあき
 カップ麺3分待てず開けている 佐藤まさあき
 急かすから釣れた魚に逃げられた 高田 幸柳
 【秀逸】
 開けきらぬドアにぶつかるせつかちさ 瀧尻 善英
 財布持ち財布がないと騒いでいる 久保あざみ
 【特選】
 頼むからゴチャゴチャ言わず見てくれ 高田 幸柳

□ 2023.01.31 2023年青森縣川柳年鑑「ねぶた」作品募集

【応募資格】青森県在住または青森県内の結社に所属している方【応募料】3,000円(切手不可)・家族割(2名で4,500円)郵便振込口座No.02230-8-142889
 青森県川柳連盟【対象作品】残しておきたい自選10句・作品にタイトル(タイトル無しも可)【応募方法】①郵送で応募…所定用紙(コピー可)またはA4用紙に所定用紙内容を楷書で明記し送り先に郵送②メールで応募…件名を「ねぶた応募」としメール本文に所定用紙内容を入力し、<hiro-m40@amber.plala.or.jp>(守田啓子)へ送信、横書きOK【応募締切】2023年1月末日【発行】2023年5~6月予定【送り先】〒038-3288 つがる市木造出来島33 青森県川柳連盟 年鑑係【問合せ】青森県川柳連盟事務局 濱山哲也(電話)080-5574-9297

□ 2023.01.31 第16回「ふるさと」川柳 募集

【課題】『縁』(1口2句提出・12人による共選・複数応募可・清記選)【選者】浪越靖政(北海道)・高瀬霜石(青森)・尾藤川柳(東京)・山倉洋子(新潟)・丸山進(愛知)・玉置和美(岐阜)・阪本高士(奈良)・小池正博(大阪)・小島蘭幸(広島)・吉松澄子(愛媛)・春田あけみ(鹿児島)・浅利猪一郎【締切】2023年1月31日【投句料】1,000円(切手不可・小為替等使用の事)【賞】最優秀賞1点(樺細工色紙掛 仙北市産品)・優秀賞1~9席(仙北市産品)・上位点数により特別賞の増設あり【選句数】秀句3句・佳作5句・入選50句(秀句3点・佳作2点・入選1点を各句に配点、合計点にて受賞作品決定)【発表】柳誌「湖」(2023年4月発行予定・応募者全員に送付)【問合せ】浅利猪一郎川柳事務所 電話・FAX 0187-48-2236 携帯 090-3552-2871 eメール iichiro@hana.or.jp【投句先】〒014-0602 秋田県仙北市ひのきない字長戸呂85 浅利方 第16回「ふるさと」川柳事務局宛

■宿題 『セーフ』

互選

- ①通学路ガードレールが防ぐ事故 瀧尻 善英
- ①心込め安全装置ONにする 村上 昌子
- ①失言をとっさに濁しギリセーフ 高田 幸柳
- ②妻の手がセーフな日々を支えてる 齊藤 蛙井
- ②最後まで諦めるなよセーフだぞ 中村 英三
- ②ぎりぎり川柳考え投稿す 久保あざみ
- ③大津波命を守る「てんでんこ」 佐藤まさあき
- ④健診のセーフ安堵の白い飯 木村奈生美

◆十和田たてがみ川柳会12月句会案内◆

【時】12月17日(土)午前10時から【所】十和田労働福祉会館【宿題】(各題三句詠)『単純』久保あざみ選／『竹』齊藤蛙井選【互選】(一句詠)『黙る』当日出席者のみ(句せんの裏に柳号記入)【席題】一題(三句詠・共選)／選者は、瀧尻善英ほか出席者から一名【投句先】〒034-0212 十和田市米田字桜平72 高田幸柳宛

「チャレンジ川柳! むさし流!」のブログはこちらから

■会費拝受【10月受付分】

高橋星湖（むつ市）・辻井洋子（青森市）

■おかげょうき川柳社会員募集中！

会員ならびに当誌購読希望の方は、下記の口座までお振り込み下さい。

→郵便振替 No.02280-6-43112 口座名：おかげょうき川柳社

→会費：6,000円（1年分）

おかげょうき川柳社 お問い合わせ先

●投句以外のことについてはこちらへ●

熊谷冬鼓 toko@okajoki.com FAX.017-752-3759

終着駅 Sin

◆柳誌編集用のPCが突然起動しなくなり、PC買い替えや編集ソフトの導入などして、慌てて今号を製作している（汗）PCの買い替えは、少し前なら、コロナ禍の影響で慢性的な半導体不足が続いていたため、PCも注文から数ヶ月も時間がかかっていた時期もあったが、ネット注文で3日で届いたし、編集ソフトも申し込み、振り込みして、すぐダウンロードして使える環境になったことから、再構築にさほど時間がかからず済んだのにはホッとした（汗）杉野十佐一賞の発表号である新年号も大幅に遅れるかもと頭をよぎったが、多分遅れることなく発行できることに、ホッとした次第である。やはり、ちょっとでも、安価で製作しようと、私個人の手作業で製作しているため、このようなトラブルには滅法弱いことにはどうかご容赦願いたい（汗）◆さて、12月3日（日）には「川柳忘年会2022」が開催され、誰もコロナになったような話もなく（笑）、無事に終えることが出来たし、参加者のお

気に入り作品を持ち寄ってのコメントもとても面白かった◆さて、日本中が熱狂したサッカーW杯。日本戦に関しては、私も午後10時だろうが、朝4時だろうが、気合いを入れて観戦した。ドイツ戦勝利、コスタリカ戦負け、スペイン戦勝利と、ジェットコースターのような日本の情勢の変化に応援疲れもしたが、W杯に出られなかった「ドーハの悲劇」をリアルタイムで観ていた世代としては、約30年という時間を経て、W杯予選リーグ突破や、ベスト8を賭けた戦いに期待出来るところまで強くなったことだけで、私は十分満足でもある◆今回、W杯の放送がインターネットTV「Abema」で放送されることも話題になった大会でもあるが、200億円とも言われる放映権は今後も高値維持し続けたら、地上波ではもう観ることが出来ないコンテンツになるだろうなと思った◆今年も最後の最後にアクシデントに見舞われたが、皆さんは、よいお年をお迎えください（笑）◆Sin

おかげょうき川柳社 作品募集案内

□ 2022.12.14 「川柳吟行会 ぼ」12月句会

【投句締切】12月14日（第2水曜日）【題・投句数】『金』3句【合評会】12月21日（第3水曜日）アウガ5階で14:30～【投句・問合せ】toko@okajoki.com 熊谷冬鼓宛 *それぞれの地で一人吟行して作句し投句願います。参加者全員による選・選評をメールで交換。入選句・選評等は後日月刊おかげょうきに掲載。メール交換できる方ならおかげょうき会員以外でも参加可。年会費1,000円。*2023年1月の吟行句会は休みとします。

□ 2022.12.20 おかげょうき会員雑詠集「無人駅」5句（2月号分）

【締切】12月20日15時必着【提出】雑詠5句、お気に入り1句（最新号からお好きな作品1句とそれに対する簡単なコメントも記入）【掲載】2023/2/10発行号【ウェブサイトからの投句】http://www.okajoki.com/toku/mujineki.html【メールでの投句】moriko@okajoki.com 守田啓子宛

□ 2023.01.07 おかげょうき川柳社本社1月句会

【時】1月7日（土）午後1時～【所】アウガ5階小会議室【投句締切】1月6日（金）15時【宿題】（各題3句詠）『飛ぶ』/『朝』/『自由詠』【席題】1題3句詠・2人共選。選者は当日の参加者より選出【川柳ラボ】互選句「孫」1句【ウェブサイトからの投句】http://www.okajoki.com/toku/【メールで直接送信投句】moriko@okajoki.com（守田啓子） ■句会参加の際は新型コロナ感染対策に協力願います。

□ 2023.01.20 おかげょうき会員雑詠集「無人駅」5句（3月号分）

【締切】1月20日15時必着【提出】雑詠5句、お気に入り1句（最新号からお好きな作品1句とそれに対する簡単なコメントも記入）【掲載】3/10発行号【ウェブサイトからの投句】http://www.okajoki.com/toku/mujineki.html【メールでの投句】moriko@okajoki.com 守田啓子宛

